



2007年10月期 中間決算説明会

2007年6月21日（木）

株式会社オハラ(証券コード:5218)

- ◆ 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ◆ ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- ◆ この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

- ◆ 2007年10月期 中間決算の概況 P03～09

- ◆ 2007年10月期 通期業績見通し P10～14

- ◆ 中期経営計画の進捗状況 P15～17



2007年10月期 中間決算の概況

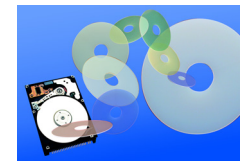
業績サマリー

(単位:百万円、%)

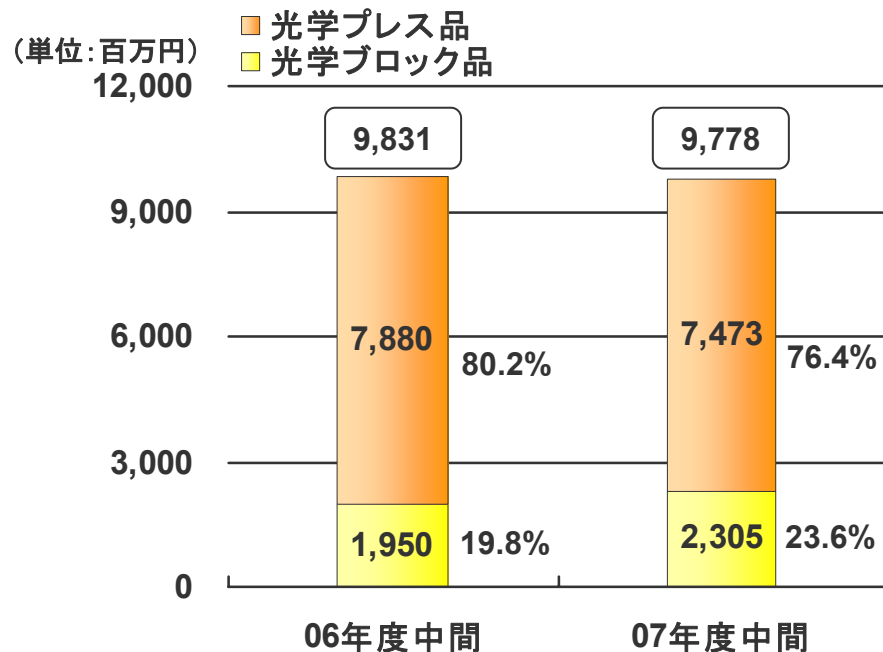
	06年度中間		07年度中間		増 減	
	実績	対売上	実績	対売上	額	率
売上高	12,946		13,331		385	3.0%
売上総利益	5,356	41.4%	5,707	42.8%	350	6.5%
営業利益	3,289	25.4%	3,316	24.9%	27	0.8%
経常利益	3,396	26.2%	3,771	28.3%	374	11.0%
中間純利益	2,159	16.7%	2,322	17.4%	162	7.5%
円/1USD		117.53		118.71		
円/1EUR		140.99		155.99		

今回の決算のポイント

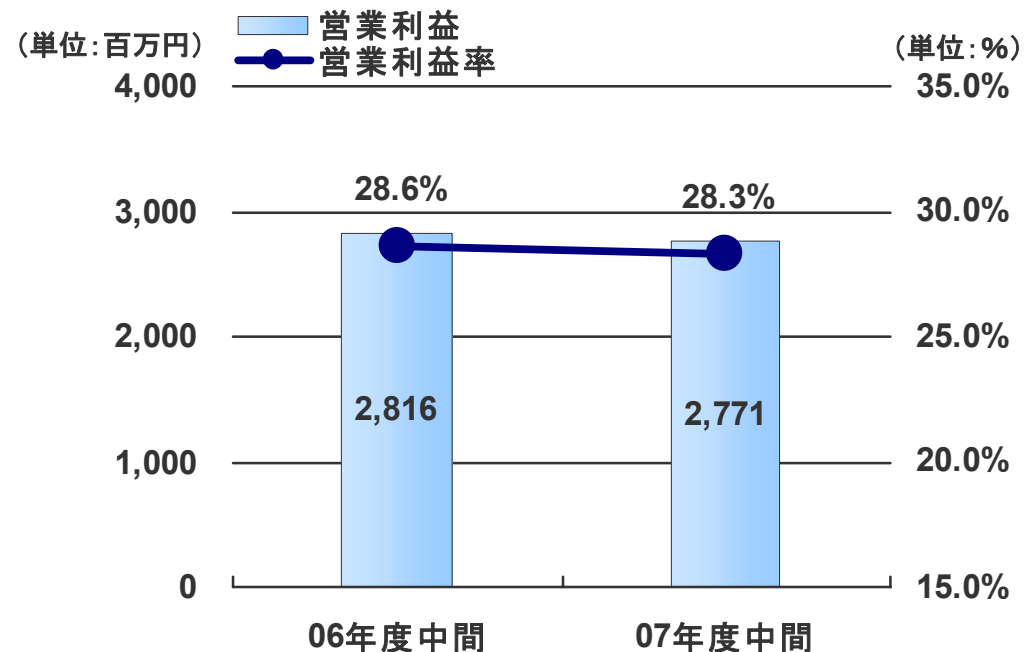
- ◆ 光学プレス品は、デジタル関連市場は堅調に推移するも、競合との販売競争激化により苦戦
- ◆ 光学ブロック品は、欧州及び日本においてi線ステッパー用高均質光学ガラスが好調に推移
- ◆ HD用ガラス基板材は、需要の増加傾向に一服感が出てきたものの比較的堅調に推移
- ◆ その他特殊ガラスは、新規需要開拓により伸張



売上高



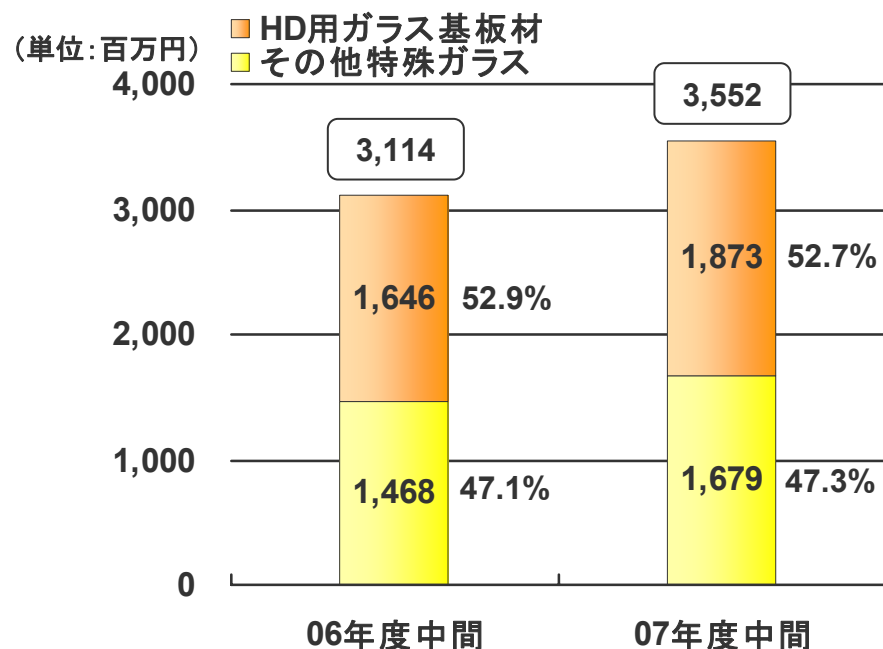
営業利益



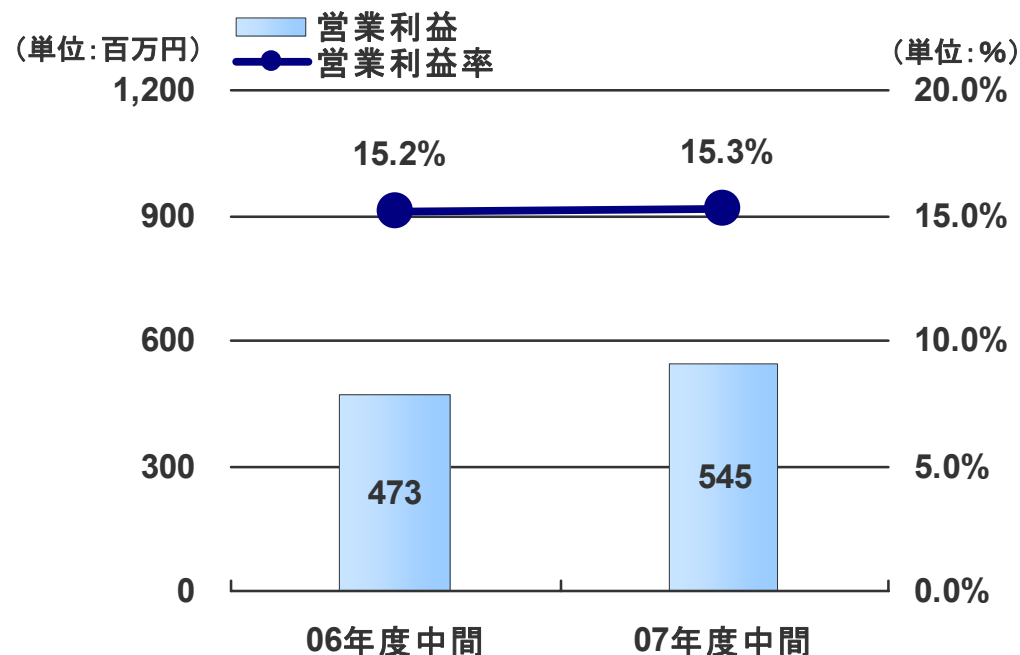
(単位:百万円、%)

	06年度中間		07年度中間		増減	
	実績	対売上	実績	対売上	額	率
売上高	9,831		9,778		△53	△0.5%
営業利益	2,816	28.6%	2,771	28.3%	△45	△1.6%

売上高



営業利益



(単位:百万円、%)

	06年度中間		07年度中間		増減	
	実績	対売上	実績	対売上	額	率
売上高	3,114		3,552		438	14.1%
営業利益	473	15.2%	545	15.3%	72	15.2%

財政状況

(単位:百万円)

	06年度中間	06年度通期	07年度中間	増減額(対前期末)
現金・預金	12,244	11,354	9,788	△1,565
受取手形・売掛金	7,832	9,248	7,723	△1,525
たな卸資産	4,928	5,054	5,315	260
その他流動資産	1,961	2,345	1,200	△1,145
有形固定資産	15,301	17,119	20,345	3,226
無形固定資産	61	59	57	△2
投資その他の資産	10,303	10,560	11,667	1,106
資産合計	52,633	55,742	56,097	354
流動負債	9,266	9,873	8,554	△1,318
固定負債	6,310	5,560	5,122	△438
負債合計	15,577	15,434	13,677	△1,756
純資産(資本)合計	36,648	40,308	42,419	2,111
負債・純資産合計	52,633	55,742	56,097	354

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	06年度中間	06年度通期	07年度中間	増減 (対前年同期)
営業活動	4,047	7,316	2,276	△1,770
投資活動	△2,241	△3,594	△3,775	△1,533
フリーキャッシュフロー	1,806	3,721	△1,498	△3,304
財務活動	△1,981	△3,760	△1,377	604
現金等の残高	12,058	12,272	9,392	△2,666



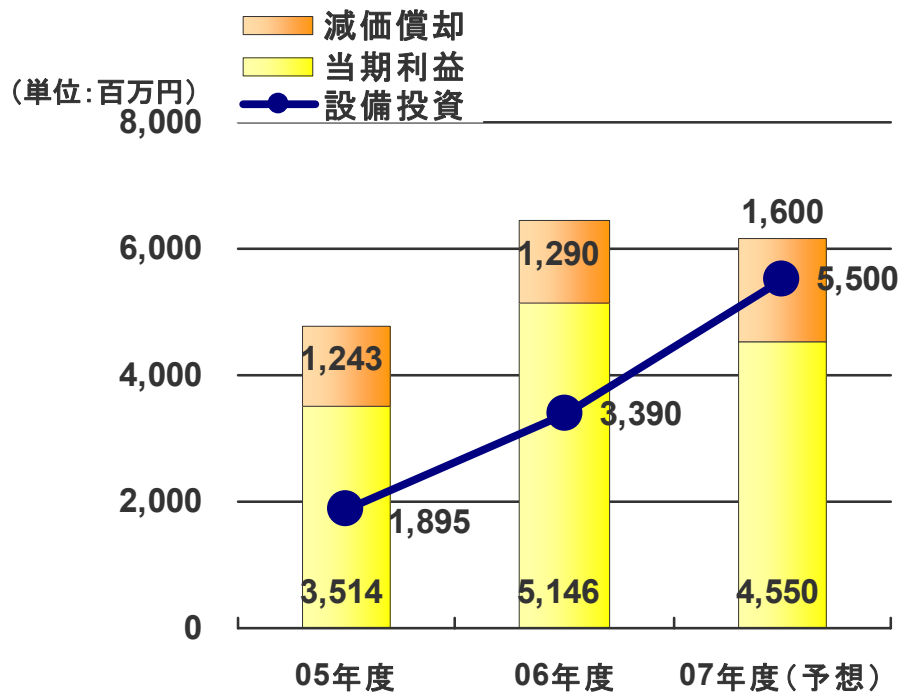
2007年10月期 通期業績の見通し

業績見通しサマリー

(単位:百万円、%)

	06年度通期		07年度通期		増 減	
	実績	対売上	予想	対売上		
売上高	27,761		28,000		239	0.9%
売上総利益	12,118	43.7%	12,354	44.1%	232	1.9%
営業利益	7,552	27.2%	7,280	26.0%	△272	△3.6%
経常利益	7,821	28.2%	7,380	26.4%	△441	△5.6%
当期純利益	5,146	18.5%	4,550	16.3%	△596	△11.6%
円/1USD	116.58		115.00			
円/1EUR	143.99		146.00			

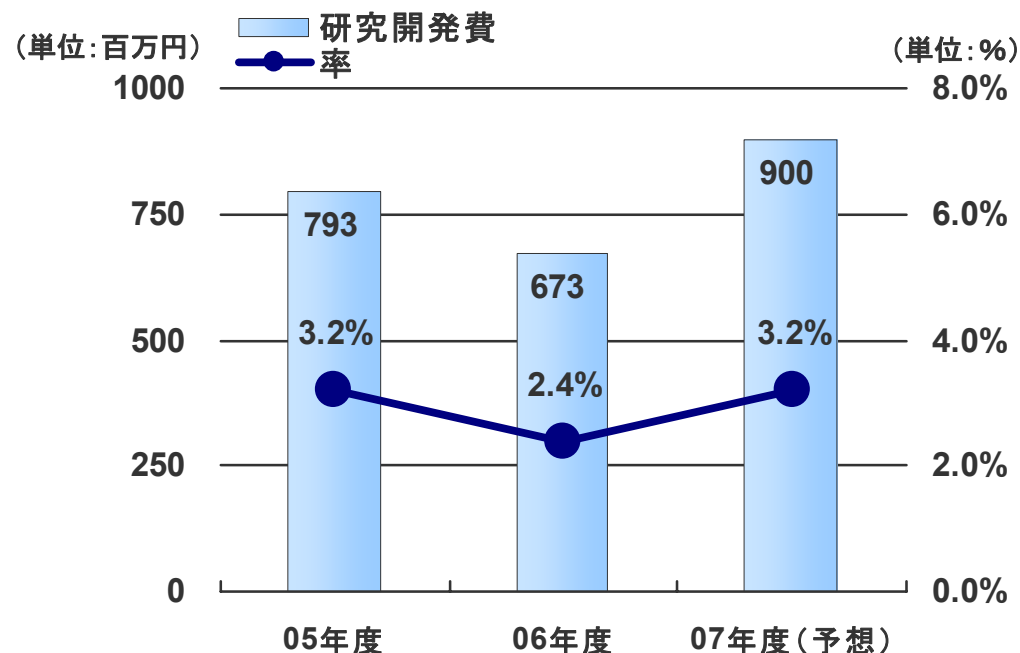
設備、減価償却



(単位:百万円)

	05年度	06年度	07年度(予想)
減価償却	1,243	1,290	1,600
当期利益	3,514	5,146	4,550
設備投資	1,895	3,390	5,500

研究開発費

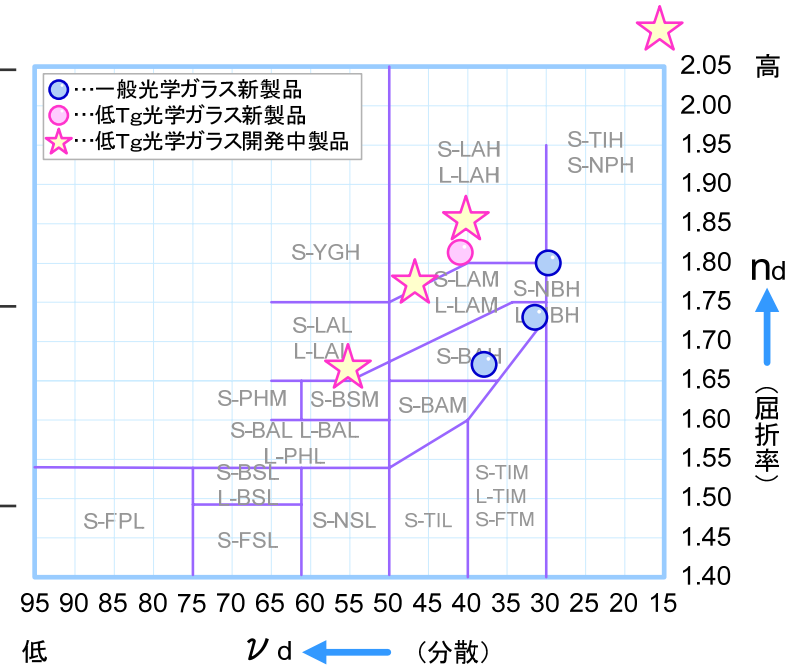


(単位:百万円、%)

	05年度	06年度	07年度(予想)
売上高	24,716	27,761	28,000
研究開発費	793	673	900
率	3.2%	2.4%	3.2%

光学ガラス新製品の開発加速

- ◆ 上期は2硝種をリリース
(低T_g光学ガラス1種、一般光学ガラス1種)
- ◆ 下期開始後現在までに2硝種リリース
(共に一般光学ガラス)
- ◆ 当期末までに更に4硝種リリース予定
(全て低T_g光学ガラス)



株式の分割を実施

-
- ◆目的 1投資単位あたりの投資金額を引き下げることにより、
- ・株式の流動性を高め、
 - ・投資家層の拡大を図る。

-
- ◆基準日 平成19年4月30日(月)

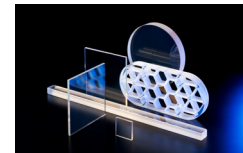
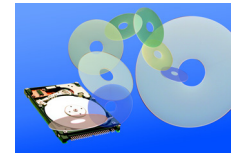
-
- ◆割合 株主の所有株式1株につき2株
-



中期経営計画の進捗状況

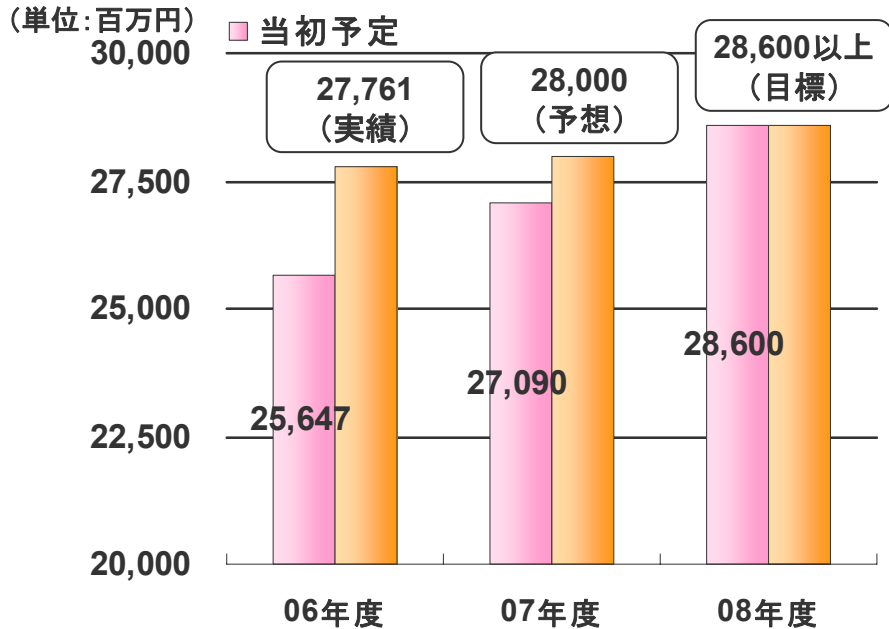
主要ビジョン

- ◆ 低Tg光学ガラスの組成開発に注力し、魅力的な製品をタイムリーに市場投入することによって、売上を拡大する。
- ◆ HD用ガラス基板材事業を強化し、マレーシア製造子会社の生産能力増強を通じて、HD市場の拡大に対応する。
- ◆ 極低膨張ガラスセラミックスの安定生産技術及び生産体制の構築を行い、売上への寄与を目指す。



中期経営計画進捗②

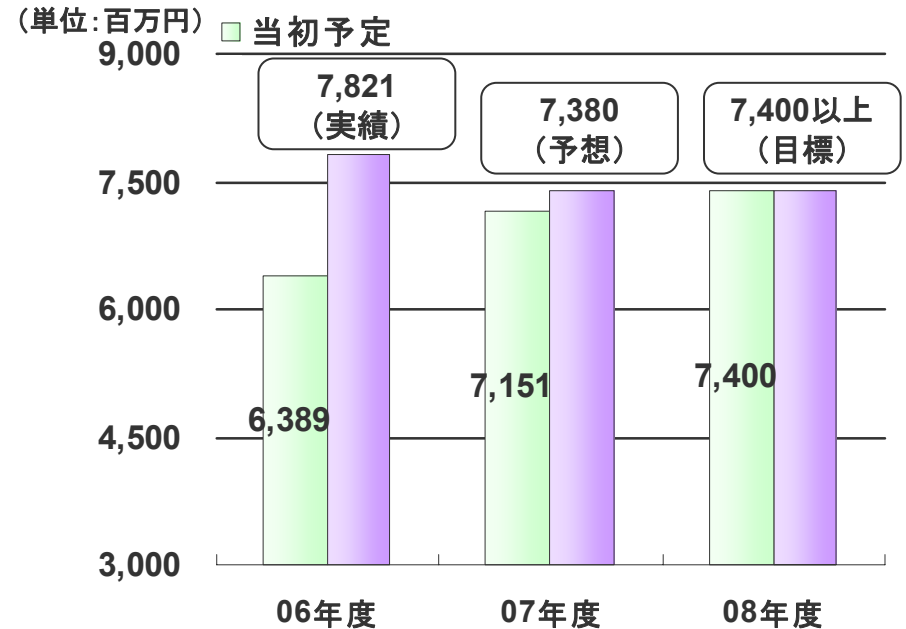
売上高



(単位:百万円)

06年度 (実績)	07年度 (予想)	08年度 (目標)
27,761	28,000	28,600以上

経常利益



(単位:百万円)

06年度 (実績)	07年度 (予想)	08年度 (目標)
7,821	7,380	7,400以上

OHARA®